

令和6年10月31日

関係者各位

やさと農業協同組合
代表理事組合長 神生 賢一
(公 印 省 略)

オーガニック給食への食材提供

～子ども達に有機食材を～

JA やさと有機米研究会及び有機栽培部会（所在地：茨城県石岡市）は、やさと農業協同組合（以下JA やさと）に所属し、有機米、有機野菜を生産している団体です。

以前より石岡市において、学校給食向けに有機米及び有機野菜の提供を行ってまいりましたが、オーガニック給食の普及の一助になることを目指し、近隣地域へも有機米、有機野菜の供給支援を行ってまいります。

■背景

JA やさと管内は平成の市町村合併前の旧八郷町にあり、そこは筑波山系に囲まれた盆地の中に広がる地域です。米、野菜や果樹、酪農や養豚、養鶏などが盛んに行われています。

有機栽培部会は、1997年に設立、当時としては珍しい生協産直での有機野菜の販売を開始しました。有機農業を専業とした生産部会の拡大と高齢化による離農問題の解決を目指して、新規就農者も受け入れながら発展を続けてまいりました。

有機米研究会は2023年に発足し、同年より有機米の生産・販売を開始しました。また、有機JASを取得した大きな精米施設が足りず、有機米を生産しても精米時に課題を抱える地域が多くあるとの声から、JA やさと精米センターも有機JAS小分け業者の認証を取得し、有機精米の販売、他産地有機米の受託精米を行っております。

2021年より石岡市学校給食向けに有機野菜の提供を開始し、2023年には有機米の提供も開始しております。

全国的にオーガニックビレッジ宣言が広がり、令和5年度までに93市町村が取り組みを開始し、令和6年度31市町村が新たにオーガニックビレッジ宣言に向けて取り組みを開始しました。しかしながら、まだまだ有機農産物の供給体制は万全とは言えません。そのため、オーガニック給食への期待が高まっておりますが、市町村によっては供給が一部にとどまってしまうことが否めません。

■JA やさとがオーガニック給食の実現に向けて支援すること

- オーガニック給食実現に向けて、学校給食に使う有機野菜や有機米が地元産では足りない場合に、ご要望に応じて不足分を当部会・研究会よりご提案・提供を行います。
- 他地域の有機農家育成に向けて、当部会圃場の見学会、部会圃場での指導会、交流会などの受け入れを致します。

■JA やさと 有機米研究会の特徴

- 2023 年、地元出身農家によって結成されました。JA 職員、役員も生産者の仲間に入り有機米の生産を開始。
- 生産グループで有機 JAS 認証を取得。
- JA やさと精米センターが有機 JAS 小分け認証を取得することで、他産地の玄米を受け入れ、受託精米する事業も開始。

■JA やさと 有機栽培部会の特徴

- 全国に先駆けて 1999 年より新規就農支援制度（ゆめファームやさと）を開始。
- 2017 年より朝日里山学校内にある石岡市が運営する朝日里山ファームでの新規就農希望者の受け入れも開始。
- 所属全生産者が有機 JAS 認証を取得。
- 第 52 回日本農業賞 集団組織の部 大賞受賞
第 62 回 農林水産祭 内閣総理大臣賞



JA やさと有機栽培部会
ホームページリンク



JA やさと有機栽培部会
Instagram リンク

環境保全型農業の推進役として有機農業の拡大に努め、持続可能な農業の実現に向けて邁進してまいります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

JA やさと 営農流通センター

担当：水野、土師

TEL：0299-44-1661

FAX：0299-44-1923

MAIL：jayasato-yu-ki@cosmos.ocn.ne.jp

<https://www.ja-yasato.com/>

<https://jayasato-yuukibukai.com/>

<https://www.instagram.com/jayasatoyuki/>